記入要領、記入例は削除して提出ください（緑字箇所）

SPSJ Frontier 高分子学会ピッチコンテスト

　エントリーフォーム

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日提出

【エントリーフォーム送信先】[pitch-contest@spsj-frontier.jp](mailto:pitch-contest@spsj-frontier.jp?subject=エントリーフォーム送付)（件名：エントリーフォーム送付）

本フォーム必要事項ご記入の上、上記アドレスへご自身のメールより本ファイルを送信ください。

本フォーム提出にあたり、高分子学会の「[個人情報取り扱い方針](https://main.spsj.or.jp/c1/kojinjyoho.pdf)」および ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社の「[プライバシーポリシー](https://www.umi.co.jp/policy/)」に同意の上、送付・応募ください。本フォームでのご応募をもって、上記のプライバシーポリシーにご同意いただいたものとみなします。

**１．提案（技術シーズを使った事業）の名称**

※１次審査を通過した場合、その後、別名称に変更可能です（変更しなくても構いません）。

**２．申請者（申請代表者）情報**

氏名　　　： フリガナ　：

※応募の要件を満たすことが必要です。

※複数参加者での応募の場合は申請代表者を記載し、「８．事業推進の体制」で全員分を記載ください。

生年月日：　西暦　　　　年　　月　　日　（　　歳）

所属機関：

部署　　　： 役職　　　：

住所　　　：　〒

電話番号： E-mail　　：

**３．本ピッチコンテストにかけるモチベーションについて**

※何故、本提案による事業化を思い立つに至ったか、本ピッチコンテストに応募しようと思ったか、採択後、具体的にどのような事業に繋げようと考えているか、自由に記載ください。

**４．事業化が可能と判断した、技術シーズの内容、革新性・優位性**

（１）技術の内容　：

※これまでに得られている研究成果について、実際のデータを基に定量的、具体的に記載ください

（パワーポイント１０ページ以内の技術シーズ補足説明資料として本エントリーフォームと別に提出可。）

（２）技術の革新性・優位性　：

※技術シーズの革新性・優位性について、背景や技術動向を踏まえて、新市場を創出する可能性、社会や市場に与えるインパクト等を記載してください。

（３）国内外動向も踏まえた、類似技術・先行技術等の状況分析：

※比較対象となる技術の文献・特許、公開情報に関する内容を記載してください。現時点で、直接的に比較できる対象がない場合、対象を広げ、将来、後追いで競合となりうる関連技術、周辺技術、代替技術などの脅威を記載してください。

※類似研究・先行技術の進捗状況、達成見込みについて分かる範囲で調べて記載してください。

※将来（短期および中長期）、競合との競争環境がどのような状況となるか、可能な範囲で予測して、記載してください。

**５．技術シーズによる事業が想定する製品・サービスについて**

（１）想定する製品・サービス、市場規模等

※想定する具体的な応用分野、想定している顧客用途、想定される顧客の使用機会などについて記載ください。（現時点でのイメージで結構ですが、できるだけ具体的に。）

※グローバル市場への展開可能性などについても考慮して記載ください。

※企業からの問い合わせ等、市場からの反応などがある場合は記載ください。

**６．技術シーズの発明、アライアンス、研究業績**

（１）発明（周辺特許を含む）　：

※当該技術シーズに関する主な知的財産権などを記載ください。

※特許の場合、発明の名称、特許番号（または出願番号）、発明者、出願人、出願日を必ず記載してください。

　　記載例：aaaの装置およびその製造方法、第xxx号(特願20yy-zzz)、○○○○、xyz大学、20xx年y月z日出願

※特許以外の知的財産権の場合、上記同様の情報を記載してください。

※特許を保有していない場合は、その旨を記載ください。

（２）当該技術シーズに関するアライアンスやライセンス契約等の状況　：

※当該技術シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について具体的に記載ください。

（３）当該技術シーズの創出、育成に寄与した公的支援制度　：

※当該技術シーズの創出に関して、支援を受けた競争的研究資金、助成金などがある場合は記載ください。

（４）当該技術シーズに関連する研究業績　：

※技術シーズに関係する研究論文、国際会議での発表、著書があれば記載ください(技術シーズと関係ない研究論文等は記載する必要はありません)。

※箇条書きとし、著者名、タイトル、掲載誌名（書籍名）、巻、号、ページ、発行年等の情報、また審査員がポイントをおさえやすいように、概要も含めて記載ください。

※論文等の業績が多い場合、本提案に関係する業績に絞り込んでください。

（1次申請書のページ制限（全体でＡ４・８枚までを目安）を遵守ください）

**７．研究開発計画**

（１）事業化に向けた研究開発の内容と最終目標

※事業化を行うために必要な研究開発と目標を具体的に記載してください。

（２）具体的な研究開発項目とスケジュール

※上記（１）の目標に対して、達成や解決が必要と想定している研究開発項目とスケジュールについて具体的かつ明確に記載してください。複数記載いただいてもかまいません。

※マイルストンの設定が必要な場合は、具体的に記載してください。

**８．事業推進の体制**

（１）申請代表者

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** |
| ○山○夫 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 特任助教 | 事業全体の統括、○○の知財取得 |

（２）プロジェクト参加者

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** |
| ○藤○子 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 特任助教 | 経営者候補：ビジネスモデル検証、顧客候補の評価結果入手 |
| ○村○郎 | ○○大学 | 大学院農学研究科 | 准教授 | ○○試験、カルタヘナ法対応 |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 研究員 | △△試験、特許明細作成、先行文献調査 |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 博士２年 | フィールドテスト補助（リサーチアシスタント） |

※申請代表者とともにプロジェクトに参画する研究者・学生（RA）等がいる場合は本欄に記載ください。（いない場合は無理に記載をする必要はありません）

以上